

## 農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名 : 山城地域やすらぎ交流圏整備計画
- 2 整備計画年度 : 平成22年度～平成24年度（3年間）
- 3 事後評価年度 : 平成25年度

事後評価項目	評価の内容
①交付対象事業の進捗状況	<p>本計画の実施地区は他の補助事業と組み合わせ実施している地区や地域自主戦略交付金に移行した地区があるため、これらを関連事業に位置づけし、事後評価を一体的に行うこととします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巨椋池地区【戸別所得補償実施円滑化整備事業】 平成23年度に完了しました。</li> <li>・巨椋池2期地区【戸別所得補償実施円滑化整備事業】 計画期間内の事業量は予定どおり実施しました。 引き続き、残事業を交付金以外の補助事業で実施する予定です。</li> <li>・巨椋池3期地区【総合農地防災事業、戸別所得補償実施円滑化整備事業】 計画期間内の事業量は予定どおり実施しました。 引き続き、残事業を交付金以外の補助事業で実施する予定です。</li> <li>・山城2期地区【農道整備事業】 計画期間内の事業量は予定どおり実施しました。 引き続き、残事業を次期計画に引き継ぎ実施する予定です。</li> <li>・農地防災事業（ため池緊急防災対策事業）京都地区（H24） 平成24年度にため池調査を実施しました。</li> </ul>
②事業効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巨椋池地区【戸別所得補償実施円滑化整備事業】 平成23年度の事業完了により事業効果が発現しました。</li> <li>・巨椋池2期地区【戸別所得補償実施円滑化整備事業】 計画期間内の事業量実施により事業効果が一部発現しました。</li> <li>・巨椋池3期地区【総合農地防災事業、戸別所得補償実施円滑化整備事業】 計画期間内の事業量実施により事業効果が一部発現しました。</li> <li>・山城2期地区【農道整備事業】 残事業を次期計画に引き継ぎ、農道供用により事業効果発現予定。</li> <li>・農地防災事業（ため池緊急防災対策事業）京都地区（H24） ため池調査により災害リスク軽減の検証が出来ました。</li> </ul>
③成果目標の目標値の実現状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 農道整備により、2集落の通作の利便性を向上させる。 【目標値】 農道整備により通作の利便性が向上した集落数：2集落 【実現状況】 農道整備により通作の利便性が向上した集落数：0集落</li> <li>② 災害リスク軽減の検証を11地域で実施する。 【目標値】 災害リスク軽減の検証をした地域：11地域 【実現状況】 災害リスク軽減の検証をした地域：2地域</li> <li>③ 排水路を1,170m整備改修する。 【目標値】 排水路の整備改修延長：1,170m 【実現状況】 排水路の整備改修延長：1,170m</li> </ol>
④今後の方針	<p>整備計画年度を平成25年度～平成27年度（3年間）とする新たな計画を樹立し、今後とも農道整備による通作や農産物の流通合理化、水利施設の整備等を進め、農業生産性の向上を図ることとします。</p>